

<金標準、週間上昇幅が 160 円まで低下し、織り込み済みの相場・・・>



(出所：オアシス)

イスラム組織ハマスがイスラエルに攻撃を行なって 3 週間が過ぎ、中東における地政学的なリスクの高まりを受け逃避の金標準先物の価格は 8661 円から週末の高値 9650 円まで 989 円の上昇を行なっている。最初の 1 週間は 369 円、イラン外相の発言を受けた 2 週目は 498 円の上昇を示し、ハマスが人質解放を行なった 3 週間目は 160 円の値上がり幅に低下している。ただ週末はイスラエル軍のガザ地区に対する空爆や地上戦へ向けた地上攻撃が大規模になった事を受け、リスク逃避の需要で買われるなど依然と高値を追い続けている。

しかしカタールの仲介で 220 名の人質が解放に向けて動き出しているとの報道もあり、一挙に地政学的なリスクが後退する要因に思われる。特に NY 金は 8 月以来の 2000 ドルを超えるなど投機の動きを強めており、買われ過ぎた動きには注意が必要と思われる。

特に大きく反発する動きは中東における戦争拡大の思惑が強まった場合であり、人質解放の動きが強まる場合は、一時的に 9400 円を試す動きに注意が必要と思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** が上昇し、**シグナル** も上昇している。RCI は **短期** が横ばいし、**長期** は上昇するなど弱気のクロスが発生する直前でもあり、目先は高値追いに対するリスクが強まると見られ、飛び付き買いは避けた方が良いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,210,000 円(2023 年 10 月 30 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2023 年 10 月 30 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>